

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年6月13日 NO.10(108)

6年生日光移動教室速報 その1

6月8日～10日の日光移動教室。無事に大成功で終わる事ができました。朝、1年生からプレゼントされたてるてる坊主をリュックにつけ、6年生が元気に笑顔で集合。今年度も一人の欠席者もなく全員参加できたことは、とても素晴らしいことであると感心しました。たくさんの保護者や教職員に見送られ、谷保駅より立川駅に行き、団体専用列車に乗り替え一路日光へと・・・。

まずは東照宮見学。杉の巨木が天地を圧倒し、400年の歴史の流れと荘厳な佇まいと人工美に感動し、子供たちは多くのことを感じ学べたようでした。ガイドさんのお話もとても丁寧で分かりやすく、真剣に聞き入っている姿がとても印象的で立派でした。いろは坂ではシカとも遭遇し皆大喜び。華厳の滝は迫力満点で、観瀑台では「すごい!」「かっこいい!」「超感動したー!」「水しぶきが当たる!」との声・声・声の連発でありました。

日光湯元に到着し、宿舎にて開校式・入室・避難訓練・夕食と予定通りに行い、いよいよ楽しみにしていたキャンプファイヤー。湖畔は国立七小の貸し切り状態で、ハンカチ落としから始まり、マイムマイムやオクラホマミキサーなど大変な盛り上がり。男女で仲良くすばやく手をつなぐ姿等、またまた感心することばかりの6年生。最後は「♪女々しくて」を歌い・踊り最高潮。焼きマッシュマロを皆ではお張り、美味堪能も素適な思い出。その後、温泉でいい湯だな!と楽しみ、就寝?

二日目、霧雨の中。ハイキングを若干短めにし、湯滝から小滝、分岐点。そして、再び湯滝へとの超ショートコースでしたが、何と1時間半もかけ自分の体を実験道具としたアクティビティーを満喫しました(詳細は国立てくてく日光6年生号外編を参照)。ウラジロモミやコメツガの針葉樹、ミズナラやカエデ類の広葉樹が織りなす針広混合林の中を歩きながら、たっぷりのフィトンチッドを浴びながら森林浴を堪能しました。まず、ポイント1では一人一人が湯滝を見て一句ひねり、子ども達が感性の素晴らしさを証明してくれました。どの子の作品も素晴らしく感動!感心!で言語能力推進教育の成果が見られ、先生達も皆にっこり。その後、優秀作品5作を選定し表彰するつもりでしたが、宿舎『樹林』の支配人様のご厚意により、15名分もプレゼントを用意して下さい、最優秀作品5作と優秀作品10作を決定しました。以下、最優秀作品は以下のとおり。

湯滝とは 落差ではなく 巾勝負 (猿木)	湯滝を見 水の流れは 時こえる (岩部)
雄大な 滝がかなでる 水の音 (岡田ま)	岩すべる 水の音ひびく 湯滝かな (勝間)
湯滝とは 水がさわぐ すべりだい (苔米地)	

